経営比較分析表（令和5年度決算）

茨城県　潮来市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	**自己資本構成比率(%)**	**普及率(%)**	**有収率(%)**	**1か月20m³当たり家庭料金(円)**
-	84.58	3.00	93.08	3,168

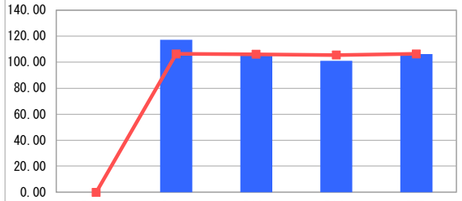
人口（人）	面積(km²)	人口密度(人/km²)
26,555	71.40	371.92
処理区域内人口(人)	**処理区域面積(km²)**	**処理区域内人口密度(人/km²)**
793	0.55	1,441.82

グラフ凡例
- ■ 当該団体値（当該値）
- ー 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

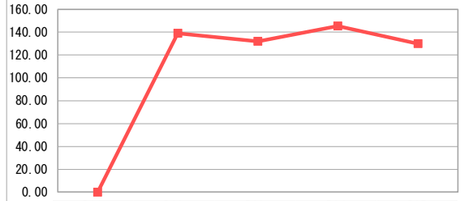
【104.44】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	117.25	105.38	101.14	106.19
平均値	-	106.37	106.07	105.50	106.35

②累積欠損金比率(%)

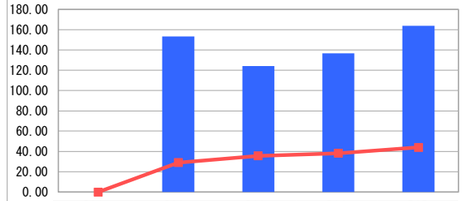
【124.06】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	139.02	132.04	145.43	129.89

③流動比率(%)

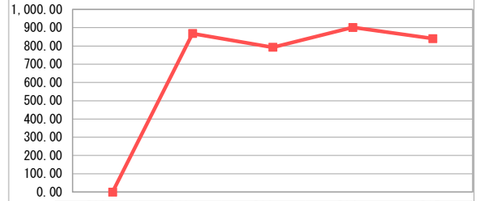
【42.02】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	153.16	124.02	136.62	163.83
平均値	-	29.13	35.69	38.40	44.04

④企業債残高対事業規模比率(%)

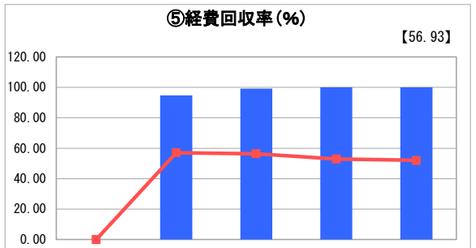
【785.10】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	867.83	791.76	900.82	839.21

⑤経費回収率(%)

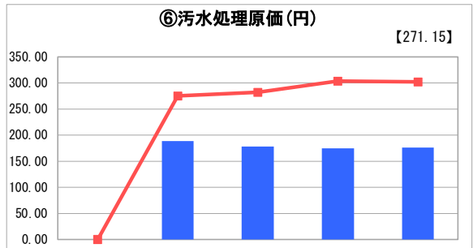
【56.93】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	94.60	99.15	100.00	100.00
平均値	-	57.08	56.26	52.94	52.05

⑥汚水処理原価(円)

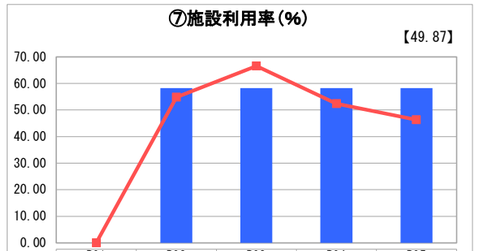
【271.15】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	188.58	178.19	174.54	176.34
平均値	-	274.99	282.09	303.28	301.86

⑦施設利用率(%)

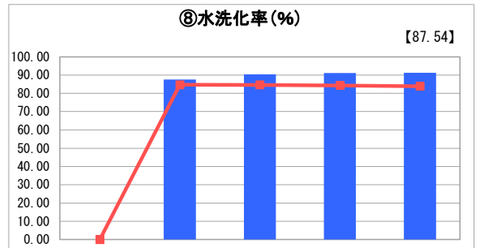
【49.87】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	58.23	58.23	58.23	58.23
平均値	-	54.83	66.53	52.35	46.25

⑧水洗化率(%)

【87.54】

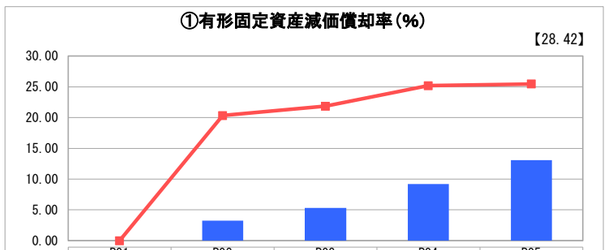


	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	87.61	90.39	91.15	91.30
平均値	-	84.70	84.67	84.39	83.96

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

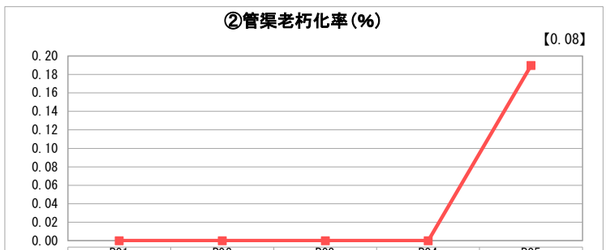
【28.42】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	3.26	5.33	9.20	13.07
平均値	-	20.34	21.85	25.19	25.46

②管渠老朽化率(%)

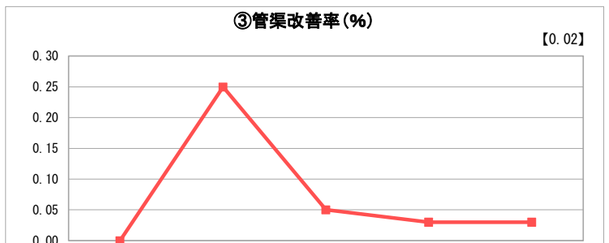
【0.08】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.00	0.00	0.00	0.19

③管渠改善率(%)

【0.02】



	R01	R02	R03	R04	R05
当該値	-	0.00	0.00	0.00	0.00
平均値	-	0.25	0.05	0.03	0.03

※　「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみの類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【経常収支比率】
　全国平均値及び類似団体平均値とほぼ同水準である。しかし、経常収益は使用料で賄えておらず、一般会計からの繰入金に依存している状況である。そのため、経常的な維持管理費の削減に努めていく必要がある。
【累積欠損比率】
　一般会計繰入金に依存しているため0%となっている。
【企業債残高対事業規模比率】
　起債の償還については、使用料で賄えていないため、0%となっている。
【経費回収率】
　経費回収率は、昨年度と同様に100%を維持できている。今後も費用の計画的運用に努めていく。
【汚水処理原価】
　類似団体と比較して低い水準を保つことができている。一方で今後の維持管理費の増加が考えられるため、費用の抑制に努める必要がある。
【水洗化率】
　年々上昇しており、類似団体平均値を上回っている。引き続き接続促進を進め、接続率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

【有形固定資産減価償却率】
　数値としては類似団体と比較して低いが、今後の個々の耐用年数に留意する必要がある。

【管渠老朽化率】
　耐用年数を経過した管渠がないため、0%である。しかし、将来的な更新に備え、財源の確保を行う必要がある。

【管渠改善率】
　耐用年数を超過した管渠はない。しかし、今後の老朽化対策のため、施設の長寿命化を図りながら、計画的に更新を進めていく必要がある。

全体総括

　経常収支比率は100%を超えており、経費回収率も100%を維持できていることから、類似団体と比較しても健全な数値が出ている。引き続き、健全な経営に努めていく。
　資産となる農業集落排水の処理施設については、令和2年度からの令和3年度にかけて改築工事を実施した。その他の施設については法定耐用年数を迎えるものはないが、今後も施設の点検、調査、修繕等を行い、最適化を図る。
　また、区域内の人口減少が著しいことから、使用料については大幅な増加が見込めないが、引き続き接続率向上を図る。